

ナスファインサンドの土工用リサイクル材としての画期的な新用途について

弊社大江山製造所（京都府宮津市）ではステンレスの原料となるフェロニッケルを生産しています。

副次的に生産される微粒状のナスファインサンド(粒度 75 μ m以下を 90%以上含有)について、フェロニッケルの独自の製錬工程に起因する高性能な物理・力学特性がこの度明らかにされ、画期的な土工用リサイクル材としての機能が確認されました。その用途は多岐に渡り、従来の埋め戻し材としての用途に加え、重機走行基盤材・排水性基盤材・一般土工（宅地造成や道路基盤造成用土木材）等に用いることが可能です。この技術は立命館大学建山研究室様と前田建設工業株式会社 ICI 総合センター様と協働で開発したものであり、土木学会年次学術講演会において3年間で8件の研究報告を発表し、2020年には優秀発表賞を受賞しました。また、同年3月には特許も取得致しました。

今後も引き続き、環境貢献度の高い土木リサイクル材の販売を進めてまいります。

☆ホームページの技術・製品情報>その他製品>土木リサイクル材に詳細なパンフレットを掲載しましたのでご参照ください。

https://www.nyk.co.jp/pdf/market/nasfinesand_j.pdf

<ナスファインサンド外観>



<新用途例>

重機走行基盤材としての有効利用

ダンプトラックや建設機械の走行基盤材に利用可能です。汎用土工機械（油圧ショベルなど）で踏み固めるだけで、即時に重機の走行基盤を造成できます。



以上

本件に関するお問い合わせ先：大江山製造所総務部業務管理チーム（電話：0772-46-3121）